

時事の見方

2007.9.28

***** 福田内閣が誕生いたしました。*****

< 質問 >

小泉内閣の時、年金未払い問題で官房長官を辞任した時にはこの人の芽はもう無いとおもったのと、その後の政局には出て来なかったのが過去の人との印象でしたが、突然候補に挙がり、あれよあれよと言う間に首相になってしまいました。見方を変えれば鮮やかな手腕と考えられます。老師の印象はどうですか。

< 回答 >

官房長官を辞任した時点から、明らかに次期内閣をねらっていたと思います。したがってそれ以降、可能性のある派閥の長と綿密な連絡をとり、次期政権獲得のための水面下の工作を真剣にやって居たと思います。それでなければ、あれほど早く他の派閥との協力が得られるとは思えません。

< 質問 >

派閥の領袖を党役員に据え、政治改革よりも自民党を守るという印象が強くなっています。老師の見方は如何でしょうか。

< 回答 >

他の派閥の領袖を役員に付けるのでなければ、組閣はそう簡単には出来ないと思います。

< 質問 >

第二次安倍内閣閣僚の多くを替えませんでした。閣僚の国会での答弁能力を重視するためと言われていますが、意図するところは何なのでしょうか。

< 回答 >

他の派閥の協力を得て、組閣を早くするという努力をしたと見て居ります。波乱を起こさずに安全な組閣をしたいという意図があったと思います。

< 質問 >

福田首相は小沢民主党と渡り合う最強の選択との声もありますが、老師はどう見られていますか。

< 回答 >

現状では最強の布陣であると思いますが、小沢氏との対決では、実際に戦って見ないとどちらが強いかわからないと思います。

***** 安倍前首相の突然の政権放棄について *****

< 質問 >

小淵首相は突然死でした。首相の坐の過酷さを垣間見る思いですが、選挙で大敗した時に辞めておけばこのような事態を回避できたと思うのですが、判断能力を失うほど平静さを失っていたのでしょうか。

< 回答 >

数回に亘る閣僚の自殺や辞任で、自律神経のバランスが維持出来なく成り、健康の回復が不可能になつたと見て居ります。

自律神経のバランスについて普段から鍛錬している人と、そうでない人との違いは、この辺ではっきり出て来るという見方をして居ります。

< 質問 >

健康が悪化していたとありますが、1説にはウツとのうわさが流れ、1説には陰謀とのうわさもある辞任でした。参議院選で自民党の顔としての効果が無かったので政治力が働いたと見るのが妥当でしょうか。

< 回答 >

ウツであるとか陰謀であるとかという噂は、全く採るに足らない風評で、次期の内閣が固まる迄頑張った態度は、首相として当然の努力であったと思います。

以上